

情報科

教科名	情報	科目名	社会と情報
科目の目標	コンピュータ等の情報機器やネットワークを活用し、問題解決方法を自ら創造的に解決できるようになる素養を身に着ける		
履修学年	2年	類型	全
単位数	2単位	履修形態	必修
教科書	東京書籍「社会と情報」(社情310)	副教材等	東書 社会と情報 学習ノート

①学習の目標

- (1) 情報や情報社会に関心を持ち、情報社会に主体的に対応する態度を養う。
- (2) 情報モラルを踏まえた適切な判断ができるようにする。
- (3) 現代社会における情報の意義や役割を理解させる。

②学習内容と授業の進め方

上記目標のとおり、授業中心に解説を行う。各分野ごとに実習を通して学習した内容を確認する。

③学習に当たっての留意点

教室で学習した内容をコンピュータ教室の実習作業によって理解を深める。逆に、コンピュータ教室で実習した内容を教室で学習内容を再確認するようにする。

④評価の観点

- | | |
|---------------------|---|
| (1) 関心・意欲・態度
【関】 | 情報にかかわる事柄に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、積極的に関わっていく心構えを身に付けている。 |
| (2) 思考・判断
【思】 | 授業・自習などを通して、情報に関わることがらの中に問題を見だし、ことがらを実証的、論理的に考えたり、分析的に考察し、総合的に判断する。 |
| (3) 実習の技能表現
【技】 | コンピュータやネットワークにかかわる操作技能を習得するとともに、アプリケーションを利用し表現・探究する方法を身に付ける。 |
| (4) 知識・理解
【知】 | 情報機器やネットワーク・情報社会についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 |

⑤評価の方法

定期考査の結果、授業や実習に取り組む姿勢・態度、レポートの内容などにより、総合的に評価する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	序章 社会と情報 情報機器とコンピュータ	現代社会の特徴 情報の重要性 パーソナルコンピュータ インターネットの利用	【知】【思】【関】
5	第一章	アナログとデジタル、数値の表現、文字の表現	プレゼンテーション発表 【技】【知】【思】
6	情報のデジタル化の仕組み	表現、音の表現、画像の表現	
7	情報機器の種類と特性	身の回りの情報機器、デジタル機器の特徴、デジタル情報の加工、デジタル情報の伝送	
8	情報機器を活用した表現方法	情報の伝達、プレゼンテーション	レポート 【思】【技】【知】【関】
10	第二章	ネットワークの仕組み、通信プロトコル、認証と情報の保護、コンピュータとネットワーク管理	
11	情報通信の仕組み		
12	情報通信の効率的な方法	情報の容量と伝送の特徴 データの圧縮	
1			
2			
3	コミュニケーションにおけるネットワークの活用	電子メールの概念、電子メールの配送の仕組み、HTMLを使った情報の表現や発信	